

視察日時	令和6年5月21日（火）15時30分～17時
視察先	沖縄県那覇市（説明：企画財務部企画調整課DX推進室）
視察項目	那覇市DX推進計画について
視察概要	<p>（1）那覇市DX推進計画</p> <p>那覇市DX推進計画では、「誰もがデジタル技術の恩恵を受け、便利で豊かな那覇」の実現を目指すという未来像を掲げている。</p> <p>また、まちのDXと行政のDXとを踏まえ、市民・事業者視点と職員視点とを平行して、基本理念として「デジタルで変わり続けるまち・那覇」を実現していくとしている。</p> <p>また、DX推進方針として、次の6つの方針に基づき、全職員が一丸となって推進するとしている。（1）総合計画に掲げる「めざすまちの姿」の実現に向けたデジタル技術の活用、（2）利用者目線のサービス設計、（3）デジタル技術の積極的な活用による生産性の向上、課題の解決、（4）人にやさしいデジタル化、（5）安全・安心の担保、（6）多様な主体との連携による施策の推進。</p> <p>必要な人材像として、マネージャー、コールリーダー、テックリーダー、デジタル化推進メンバー、フォロワー、外部専門人材を明示し、人材育成プログラムを提供し、到達度の評価などが行われている。</p> <p>計画の対象期間は、2023年度から2028年度までの6年間とし、施策の進捗を毎年度評価するとともに、適宜見直すものとしている。</p> <p>○デジタル担当 →部内全員で12人（外部から1人、職員10人、会計年度1人）</p> <p>（2）DXアクションプランについて</p> <p>検証を行いながら、各種アクションプランを実施している。</p> <p>○医療、予防接種 →オンラインで受付。アプリで行えるようにしている。鶴岡市も同様のシステムを採用している。</p> <p>○行政手続きのオンライン化 →来庁の回数を半分に減らすと対応方針を定め、1,000人以上の手続きをオンライン化しようと進めている。</p>

- 施設、窓口のオンライン予約 公園、公共施設
- ニーズにあった、行政情報 HP
- E B P Mの研修
- オープンデータ、公開データの活用 東京大学主催のコンテストで優秀賞を獲得
- 庁内でD Xマガジンを発行 優良事例、チャットG P Tなどの紹介
- 毎年庁内アンケートを行い、取り組みたい意思や懸念、不安を抽出
- テレワークの推進
- ペーパーレス 会議室にモニターを設置して環境を整備
- 公式L I N E 市民との接点。学校の出席等、保護者からのL I N Eで
- 救急車内の情報をデジタルデータで医療機関と共有し、連携
- 財源について 今年度のデジ田交付金は、A I 電話相談（自動要約して対応できるように）などに取り組んでいる。
- 図書館のシステムオンライン化 図書館のシステムと公式L I N Eをリンクして、図書館の本の貸し借りの手続きができる。
- 市内I T企業との連携 ベンチャー企業、スタートアップ支援の入居事業者との連携。産業系、商工がメインとなって行っている。
- C o d e f o r 那覇、沖縄 シビックテック関連はまだない。宜野湾市は活発。デジジムなどの活用などはいかがか
- 地域課題 まちづくり協働推進課 地域課題に対して、私たちはデジタルの側面から活用できないかを提案している。
- スマホ教室は、ソフトバンクと連携協定し、公民館で講座開いて実施。L I N Eは地元の協定と連携している。包括連携協定は結んでいない。
- コミュニケーションのオンライン化 チャットを利用
- 残業が減った事例 保育所入所手続き(申し込み)をオンライン化した。来庁しなくても手続きできることで、家族の来庁数が1割ぐらい減って混雑が緩和できた。
- R P Aで入力作業を自動化することで、業務時間を削減できた。
- 生成A I活用方針 2023年4月に横須賀市でC h a t G P Tの試験導入を始めたことから、那覇市でも市長から提言があり、65人の職員が生成A Iを2か月間検証利用し、同年11月に活用方針及びガイドラインを策定。現在、職員は「L o G oチャット」のオプション機能で、C h a t G P Tを使用している。
「那覇市生成A I活用方針」(令和5年11月21日策定)では、生成A Iの利用範囲として、生成A Iは、全ての文書関係業務に利用できることとし、主な活用用途は次に掲げるものとしている。

	<p>(1) 文章のたたき台を作成すること、(2) 文章を要約、校正すること、(3) 文章を翻訳または平易に書き改めること、(4) 着想を得るまたはアイデアを発展させること、(5) 関数、VBA 等のコードを作成または修正すること、(6) その他、業務の効率化や行政サービスの向上に資するもの</p> <p>※参考サイト</p> <p>https://www.city.naha.okinawa.jp/websyuccyoujyo/kaiken/2023kaiken/kaiken231122.html</p>
<p>所 感 (意見・感想・ 今後の課題等)</p>	<p>闊達な意見交換を通じて、D X活用の現場の課題、課題解決の実態をよく知ることができた。</p> <p>鶴岡市でも概ね同様のことを行っているように思えるが、那覇市の生成A I活用方針を定め、積極的に生成A Iを活用していたところは、参考になるように感じた。</p>

報告者 総務常任委員会 草島 進一